

議 事 要 旨

議 事 要 旨	
会 議 名	徳島県がん診療連携協議会 情報提供・相談支援部会会議
日 時	令和3年3月3日(水)～10日(水) メール会議
場 所	大会議室(徳島大学病院中央診療棟)
送信者	宮本会長、金山部会長、寺嶋委員、辻委員、石倉委員、古本委員、安藤委員、影治委員、林委員、漆川委員、正宗委員、藤原委員、森委員、香留委員、鎌村委員、東條委員、山口委員、中村委員
承認者	宮本会長、金山部会長、寺嶋委員、辻委員、石倉委員、影治委員、林委員、漆川委員、正宗委員、藤原委員、森委員、香留委員、鎌村委員、東條委員、山口委員、中村委員

議 題

金山診療連携部会長の指示のもと、徳島県がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会がコロナウイルス感染予防のためメール会議での開催となった。

令和3年3月3日(水)に委員へメール送信を行った。(意見・要望等の期限は10日(水)まで)
内容について承認は18名中16名から連絡があった。

【報告事項】

1. 都道府県がん診療連携協議会 情報提供・相談支援部会報告について

今年度は、新型コロナウイルスの影響で都道府県がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会会議がWEBでの配信となった。なお、当日の資料等は下記より参照。

※下記の URL より内容確認ください。

第 14 回 情報提供・相談支援部会 部会委員限定の web 配信

https://ganjoho.jp/med_pro/liaison_council/bukai/shiryo14.html

第 15 回 情報提供・相談支援部会 Web 会議

日時：2020年11月27日(金) 13:00～15:00

https://ganjoho.jp/med_pro/liaison_council/bukai/shiryo15.html

2. 徳島県民がんフォーラム報告について(添付資料1)

金山部会長から、別紙資料「徳島県民がんフォーラム2020実施報告者」について報告があった。

① 令和2年10月4日(日)13:30～16:00徳島大学大塚講堂で徳島県がん診療連携協議会診療連携部会、情報提供・相談支援部会、緩和ケア部会が主催、徳島大学病院がん診療連携センターと徳島新聞社が共催で開催を行う予定であったが、新型コロナウイルスの影響で無観客開催となり当日の様子を徳島県内のケーブルテレビで放送、また令和2年11月8日(日)徳島新聞朝刊に掲載を行った。

②内容は「がんとうまく付き合う患者術・生活術」で「人生会議」の勧め がんvs新型コロナ、分子標的療法、放射線治療、両立支援・がん相談支援センターなどについて行った。

金山部会長から、来年度以降も引き続き市民公開講座を行いたいとの要望があり、今回のメール会議にて部会委員から承諾を得た。

3. PDCAサイクルについて【添付資料2】

今年度は令和3年2月6日(土) Web開催の「令和2年度 都道府県がん診療連携拠点病院PDCAサイクルフォーラム」が開催された。徳島県は情報提供・相談支援部会実務者で PDCAサイクルチームリーダー徳島赤十字病院町田副看護部長、サブリーダー徳島大学病院川下看護師長の2名が参加した。

「オンラインを活用した新型コロナウイルス感染症流行下での都道府県レベルでのPDCAサイクル確保の活動」・「都道府県レベルでの共通目標・共通指標を用いた診療の質の改善活動」について、フォーラムの資料と2名の報告書を共有し、各メンバーが自施設の今後のPDCAサイクルチーム活動を検討した。

PDCAサイクルフォーラムの資料は、国がんHPにある下記のURLをご参照ください。

https://ganjoho.jp/med_pro/training_seminar/pdca/forum/20210206.html

※参加者(町田・川下)報告書は資料2-1参照

4. 実務者のがん相談支援センター相談員研修等について【添付資料3】

令和3年3月5日に徳島県内がん相談員研修会をWeb開催で行った。内容は「高齢がん患者の意思決定支援」であった。事前参加申込みは県内の相談員から40名であったが、当日は徳島県内のがん診療連携拠点病院以外にも阿南医療センター、徳島県立海部病院、徳島県鳴門病院などからも参加があり約50名以上の方が参加した。

※案内ポスター、概要資料参照

【協議事項】

5. 来年度事業計画について(実務者会)【添付資料4】

徳島大学病院福田社会福祉士から、次年度事業計画の共通目標としてコロナ禍のため、今後も集合研修形式での打ち合わせ開催が難しい状態が続くと予想される。その中でも、各チームの活動を実施できるよう、オンラインでのミーティング等が実施できるよう調整していくとの報告があった。各チームの活動は資料4を参照。

6. その他

香留委員から、下記の意見があった。

昨年度開催の議事録も添付頂いており、そのなかで気になる点があったため、お教えいただきたい。議事要旨【協議事項】5、その他で、ピアサポートに関してもまとめられておりましたが、福田社会福祉士の発言が、ピアサポーター全体の傾向となってしまうのではないかと危惧しています。昨年の会議なので、語尾まで十分に記憶がないのですが、確か福田社会福祉士が経験された例はこの1例で、もちろん、1例であってもこのようなことがないようにするために今後どうするかを考えねばなりませんし、だからこそ相互に連携を取りましようとお話したことは覚えています。その際に私たちが行っているピアサポートメンバーにも共有し、協議する場に参加していく旨をお伝え致しました。ただ、その後はコロナ禍でもありますし、私たちとしては健康づくり課とは定期的にピアサポートのスキルフォローアップ研修についてや、現状の把握について連絡は取っているのですが相談員の方との接点はありません。私たちのピアサポーターのグループとしては、そ

の後改めてピアサポートを行うことについての勉強会や交流会を、オンラインを含む方法で何度か開催しています。議事録に関しては記録ですので、この事実には物申すものではありませんが、会議自体は1年以上前のことなのでこの1年の進捗のなかで、コロナ禍で滞っていることや今後の方針など、何か現状を示すものがあればわかりやすいと感じるのですがいかがでしょうか。

とのご連絡をいただき、ピアサポーターの事業を行っている徳島県保健福祉部健康づくり課前田氏にピアサポーターの今後の活動も含め意見を求めた。

徳島県保健福祉部健康づくり課前田氏から、徳島県では、がん患者の不安や悩みを軽減する方法の一つである「がんピアサポート（がんを経験した方の協力による相談支援）」は、がん患者の緩和ケアの観点からも重要であると考えています。このため、がん患者の療養生活の質の向上を目的に、患者やその家族が自らの経験を生かした相談支援を行う際の一助として、平成23年からピアサポーター養成講習会を実施しています。また、県内の各がん診療連携拠点病院等には、がん相談支援センターが設置され、相談員によるがん患者への相談支援が実施されています。故に、県としては、

- ・各拠点病院等におけるピアサポートは、相談員とピアサポーターとが協力しながら、がん患者を支援するものであること。

- ・ピアサポートに対する考え方は、各病院でも異なる部分もあること。

から、ピアサポートを、どのような形で相談支援に取り入れるかは、各病院の判断であると考えています。ただ、がん相談支援センターでの「ピアサポーターによる相談支援の導入」は、「がん診療連携拠点病院等の要件（必須要件ではない）」であることから、徳島県がん診療連携協議会（都道府県拠点病院による地域拠点病院等への支援）として「相談員とピアサポーターの交流の場の設置」などの対応も考えられますが、他の業務との兼ね合いもあり難しいところもあると思います。このため、県が実施している「ピアサポーター養成講習会」や「ピアサポーターを対象としたピアサポーターフォローアップ講習会」に、各拠点病院等の相談員が講師やオブザーバーで参加いただくなど、ピアサポーターとの交流・情報交換の場として活用いただくのも一案と考えます。

ピアサポーターの活用推進に向け、難しいところもあるかと思いますが、どうぞ、よろしく願いいたしますとの意見をいただいた。

後日、徳島県保健福祉部健康づくり課前田氏からの意見を香留委員に伝えたところ、香留委員から、この1年の振り返りとしての現状把握や来年度の見通しなどについて宮本会長との懇談を希望したいとの申出があり宮本会長と徳島大学病院相談員、香留委員で令和3年3月17日(水)に懇談会を開いた。香留委員から、ピアサポーターが相談員の皆さまと意見交換をすることも方策のひとつとして引き続きお考えいただきたい。この部会の委員のひとりとしては、この部会は患者さんやご家族がより安全に安心され納得して療養生活を送るための情報提供、相談支援がより充実していくためのものなので、ピアサポートはその一部として、患者さんやご家族にとって医療者の方々とともに徳島では今後どのように進めていくかといったことを、継続して部会での検討をお願いしたいとの要望があった。その上でピアサポーターが相談員の皆さまと意見交換等を行うことも昨年の部会でもあったように方策のひとつとして引き続きお考えいただきたいとの要望があった。

宮本会長から、今後 Web 等での交流を行いたいとの回答があった。

香留委員から、コロナ禍で今年は部会の開催がなく、徳島県内のがん相談の現状が見えづらいため、今年度の現状と今後の見通しの共有を行ってはどうかとの意見があり、徳島県内のがん診療連携拠点病院に問い合わせを行うこととなった。

徳島県がん診療連携拠点病院のがん相談支援センター現状は下記のとおりである。

(令和3年3月19日現在)

※徳島大学病院

1. がんサロンの開催 休止中
2. ピアサポーターの実施 要請しなかった
3. 電話相談 減少した
4. 対面相談 減少した
5. コロナ禍で困ったこと

当院・他院とも家族面談が禁止となり、入院中の患者の状態が分からないとご家族から聞きます。県外から帰省する家族が患者さんに会いたいと希望があっても、流行地域等の問題で面談が困難であったり、転院時のご支援をいただかず県内の親族やタクシー等で転院をお願いするケースもありました。

6. その他相談対応困難事例について

入院中だと面会制限となるため、在宅を希望する方が増加している。在宅でも、県外のご家族が帰省した場合は、訪問看護の介入時に事前に要相談となったり、在宅での対応方法について事前確認と打ち合わせが必要であった。外来相談では、テーブル前にパーテーションがあり、難聴の方の場合にコミュニケーションがとりづらいケースもあった。

7. オンラインでの相談受付 不可能
8. 来年度、がん相談等に関して新しく考えていることなどあればご記入下さい
就労相談も減少しているため、両立支援に取り組みたいと考えています。

※徳島赤十字病院

1. がんサロンの開催 休止中
2. ピアサポーターの実施 要請しなかった
3. 電話相談 増加した
4. 対面相談 増加した
5. コロナ禍で困ったこと

がんサロンに参加したい方がいること。現在はお断りしている。

6. その他相談対応困難事例について

セカンドオピニオンで県外希望のある化学療法中の患者。

- ①化学療法中は本人・家族の県外等の往来を止めてもらっているため。
- ②オンラインでセカンドオピニオンを受けてくれる病院がほとんどない。

7. オンラインでの相談受付 不可能
8. 来年度、がん相談等に関して新しく考えていることなどあればご記入下さい
オンライン相談については検討予定。

※徳島県立中央病院

1. がんサロンの開催 休止中
2. ピアサポーターの実施 要請しなかった
3. 電話相談 その他(変わらない)
4. 対面相談 減少した

5. コロナ禍で困ったこと

面会が禁止となった為、面会の出来る病院へ転院したいとの相談

6. その他相談対応困難事例について

特にありません

7. オンラインでの相談受付

不可能 ※オンラインを Zoom 等と想定してですが、現時点では難しいと思われます。

8. 来年度、がん相談等に関して新しく考えていることなどあればご記入下さい

特にありません

※徳島市民病院

1. がんサロンの開催 休止中

2. ピアサポーターの実施 要請しなかった

3. 電話相談 減少した

4. 対面相談 減少した

5. コロナ禍で困ったこと

患者サロン等のイベントや交流会が全て中止となりできない

6. その他相談対応困難事例について

- ・在宅希望だが医療度が高くてなかなか困難
- ・面会のできる病院へ転院したいと言われる

7. オンラインでの相談受付

不可能

8. 来年度、がん相談等に関して新しく考えていることなどあればご記入下さい

サロン等について開催方法を検討中